

市制 20 周年記念



わたしたちが これからも大切にして いきたいもの

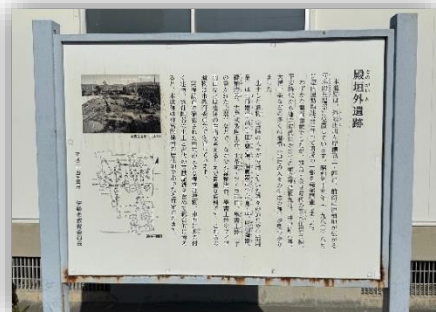


豊浜西小学校

令和 6 年度 5年生の取組

●学校が遺跡？！

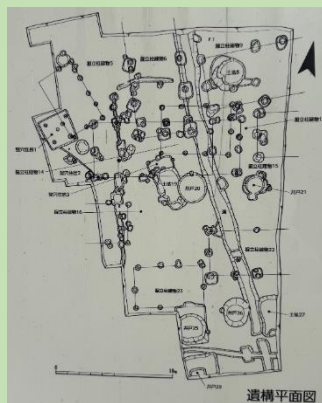
私たちが通うここ豊浜西小学校は遺跡だった？！体育館正面玄関のそばになにか案内板があるなとは思っていたが、それが「殿垣外遺跡」の説明だった。



「殿垣外遺跡」とは、飛鳥・奈良時代から鎌倉時代前半の遺構で、現在の豊浜西小学校を中心に東西 260m 南北 150m ほどの範囲にあったとされる。昭和 55 年に体育館を新築する際に調査がおこなわれ、飛鳥・奈良時代の竪穴式住居 3 棟、平安時代の掘立柱建物 2 棟、鎌倉時代の掘立柱建物 5 棟の跡等が確認され、土師器片・須恵器片・山茶碗片・陶器片などの遺物も見つかった。学校にもその一部があり、今回見ることで良かった。何百年も前のものがこうして残っているのはとてもすごいことだと思った。これからも大切に残していかなければならないと感じた。



【甕（かめ）】
酒や水を入れるのに使ったそうだ。



【調査の時にわかった遺構の図】

体育館の下に数百年に渡ってたくさんの建物が建てられていたことがわかり驚いた。



●「方言と共通語」の学習から

「おーきんなー」・・・伊勢にはこのように味わいのある方言がたくさんある。

国語教材（光村図書５年）に「方言と共通語」という単元がある。そこには「塩の味」を全国各地の方言でどう表現するのか、分布地図が掲載されている。また、神田卓朗『三重弁やん』（風媒社）には、「机をつる＝運ぶ」「肉をいろう＝触る」「消しゴムたろて＝取って」「テレビがやぶれた＝壊れた」「見えやんやん＝見えないでしょ!」など、おもしろい伊勢弁がたくさん載っている。——これらの学習を手始めに今度は、自分たちで家族・親戚・近所の人など、自分の周りの人たちから「三重弁・伊勢弁・豊浜弁」を探してこようという活動に入った。家族に聞いてみたら、いろいろたくさんの方言について知ることができた。確かにこれまでもなんとなく聞いた言葉もあれば、まったく初めてのものもあってとても面白いなと思った。



●伊勢・豊浜の方言を調べよう

言葉がたくさん集まってきた。共通語のみでは伝えきれない情緒を含んだ言葉だ。聞く際に使い方についても確認してみた。意味はそこではっきりわかった。どうしてこのような

言葉になったかは、はっきりしないことが多かったが、自分たちの地域に合った響きが感じられ、これからも残していけるといいと思った。

(言葉)

おくんない

(教えてくれた人)

お母さん

(意味)

ちょうだい

(使用例)

それ美味しそうやな、ちょっとおくんない

(言葉)

けなるい

(教えてくれた人)

おばあちゃん

(意味)

うらやましい

(使用例)

そんなにはよ動けるなんてけなるいなあ。

(言葉)

ずつない

(教えてくれた人)

おじいちゃん

(意味)

調子が悪い

(使用例)

ひざがずつない。

(言葉)

あばばい

(教えてくれた人)

お父さん

(意味)

まぶしい

(使用例)

そんな目を細めてあばばいんか。

●伊勢方言を「折り染め」に仕上げ披露しよう

自分たちの語彙が豊かになったことを祝い、和紙と染料で折り染め作品として仕上げた。そしてそれを示しながら学習発表会で調べた内容とともに披露した。他の学年の子に意味を尋ねながら発表したが、みんなも私たちと同じで、聞いたことがあり意味も分かるものと、そうでないもの両方があるって気持ちを共有できた。みんなにも伝えることができたので、学校生活の中でも使えるものは、これからは話してみようと思った。



方言と学校の遺跡について調べ、たくさんのことを知ることができた。これまでの地域の人々の暮らしに触れることができ良かったと思う。過去から今、今から未来へ、時間は繋がっている。これまでを未来につなげるのは私たちなので、大切な「記憶」を大事にしていきたい。